

頑張れ九里!

No.31
2010.3

九里学園高等学校部活動後援会報

challenge kunori



陸上 浅井
全日本ユース陸上選手権大会
陸上 金子
国体出場
スキー部 島貫・近田・佐藤
冬季インターハイ出場



平成21年度の活動を振り返って

頑張る部活動 vol.4 ソフトボール部

●発行／九里学園高等学校部活動後援会

米沢市門東町1—1—72 ☎(0238)22—0091 FAX(0238)22—0092

「高い目標を掲げて」



部活動後援会会長

後藤 利明

卒業式を目前に控え、年度替りの慌ただしい時期となりました。卒業する三年生は進路が決定し、自分の将来に向けて夢を大きく膨らませていることと思います。今年度は、景気低迷により極めて厳しい就職活動となりましたが、就職希望者のほとんどが内定し安堵しているところです。これもひとえに先生方の御指導と御尽力の賜物と感謝申し上げます。

さて、今年度は現在開催中の冬季オリンピックをはじめ、サッカーワールドカップなど世界が注目する国際大会が予定されています。これらに出場する選手は、国を代表する超一流選手ばかりが揃い、見るたびにその高

い身体能力や技術には驚かされます。興味のある無しにかかわらず、テレビのスポーツ番組の映像に目が釘付けになることがあります。強靱な筋力、百分の一秒を競うスピード、スーパーテクニクなどを見ているだけで無意識のうちに引き込まれてしまいます。人間の超絶的な動きは、人間が持つ動物的感覚の中に芸術的に映るのかもしれない。

この冬季オリンピックを通して、目標を達成しようとする強い気持ちと自分の持つ力を出し切る心身のバランスが、大舞台で結果を出すには極めて重要であると改めて感じているところです。近い将来、九里学園の卒

業生からもオリンピック選手が誕生することを期待しているところですが、そのためには高い目標を掲げ、実力アップを図る練習に取り組まなければなりません。いずれの種目でも、適切な練習を積み上げれば一定の実力をつけることは可能ですが、高校総体の県大会、東北大会と勝ち上がっていくには、練習の質と密度を高める必要があります。実力をアップし、確実に結果を出すことができる練習の方程式などはありませんが、自分自身やチームの得意とするところはさらに力を伸ばし、弱点や不得意分野をいかに克服するか、一人ひとりが付加価値のある練習を意識的に行う必要があります。陸上部や卓球部は、今年度もインターハイに連続出場を果たしており、すでに実力は全国レベルにあります。今後は出場することにとどまらず、是非とも全国制覇を果たし、九里学園の名を全国に轟かせて欲しいと願っております。各部の一、二年生

は、春季大会に向けて練習に励んでいることと思いますが、少しでも上位を目指して欲しいと思います。

最後になりますが、部活動後援会の関係各位には日頃から御協力を賜りまして誠に有難うございます。今後とも、子どもたちが思う存分に部活動に取り組むことができるよう御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。



毎日の積み重ねの大切さを知る

部員たちにエール！

学 校 長

九 里 廣 志



『身近な環境アクション・ふるさと清掃運動会』（王貞治実行委員長、奥島孝康（日本高野連会長・実行委員長代理）、野口健、加藤登紀子らが呼びかけ人）という活動があります。

もともとこの活動は「地球温暖化を止める」と言うことを目標にした活動で、趣旨に賛同し参加したい団体などが、インターネットなどで参加を申し込むスタイルのもので。二〇〇七年にスタートを切り、多くのNP〇団体や市民団体などがこの活動に参加してきています。まさに「ふるさと」の山や川、海、町

ランテア「自発的にやろうと申し出る」活動です。

今年はこの運動に、県高野連から参加を要請するよびかけがありました。日本高野連から、加盟する県内の高校の野球部員に参加を促すよう呼びかけられたことによるものだそうです。その活動のようすは毎日新聞が協賛団体と係わっていることもあり、県内版にも大々的に取り上げられ「44高校野球部員、除雪や清掃活動」と言う記事が紙面を飾りました。テレビでも取り上げられましたが、「このよ

うな体験は初めて…」というよ

はしたのですが、『活動している写真を送る』ことを要請されたことには大きな違和感を覚え、多くの方々が知っておられるように、本校の野球部員は、「人間を育てたい」「野球をできるように多くの人たちに応援してもらっていることに感謝を」と、常に言い続けている指導者たち。そしてそれに応えて、毎朝当たり前として、嬉々として校内外の清掃や除雪などの活動に積極的に取り組んでくれている部員たち。「元気に挨拶してくれる野球部員に、活力をもらっている。」



朝の雪片付けのようす

というよ

な場面として報告しなくても：と思うし、その一日だけの活動を大々的に報道することに疑問を感じるのです。また、このようにまでして「活動させなければならぬ」野球部も多いのだろうと思うと、部活動とは何かを考えてしまいます。

翌日から当たり前のように、スコップを持ってあちこちの雪片付けをしている彼らに大きなエールを送ります。

スキー部

インターハイに出場して



二年五組
近田 沙稀
(米沢五)

私は北海道でおこなわれたインターハイに出場してきました。前に世界選手権があった白幡山でありました。私は今まで練習してきた分をすべて出さってがんばろうと思いました。クラシカルの結果は三十位で、フリーの結果は三十七位でした。昨年よりはいい順位だったけど、速い人はたくさんいるし、私はまだまだだなとも思いました。

リレーでは私は二走でした。来年は人数がたりなくてリレーはたぶん組めないのが今年で最後のリレーだし、三年生と一緒にリレーをできるのも最後なので力を合わせてがんばりました。結果は十三位でした。入賞はできなかったけれど昨年よりいい順位だったし、なんかこのメンバーで走りきった達成感があったよかったです。またいろいろな大会があるけどがんばりたいです。

インターハイに出場して



三年三組
佐藤 香澄
(米沢五)

今回高校最後のスキーで部員全員がインターハイに出場できた事は部長としてとても嬉しいことでした。また私は昨シーズン個人での出場はできず、リレーでの出場だったので、今シーズン個人競技にも出場できた事は高校三年間の集大成として個人的にも嬉しいことでした。

クラシカルとフリー共に一年次の九十九位だった成績よりも上回ったことや、シーズン前に部で立てたリレー目標『インターハイで十五位以内に入る!!』という目標が達成できて本当に良かったと思います。その気持ちとは反対に、もっと上位に入って両親やコーチ達に喜んで欲しかったという悔しさも残りました。終わった事はどうにもできませんが、三年間を振り返ってスキーをやったよかったですと今すごく実感しています。スキー人生にありがとう。

インターハイに出場して



三年三組
島貫 蓮
(米沢三)

高校生最後のインターハイは、三年前に世界選手権が開かれた北海道札幌市の白旗山競技場でした。中学校三年生からDVDを何度も何度も見続けていたので、コースや走り方のイメージは完璧でした。いい感じに調整をすることができ、とてもレースが楽しめました。しかし、3レースとも体験のしたことのない寒さにやられ、手先、脚

がスタートする前に急に凍り、これっぽっちも身体が言うことをききませんでした。寒さにやられた反省をいかし改善して次のレースをむかえましたが、ことごとく失敗に終わりました。応援に来て大きな声で応援をしてくれたコーチと保護者やこの日のために何度も何度もWAXテストを繰り返して、全力でサポートしてくださった先生と親に結果で恩返しができなかったことが一番情けなく申し訳なく悔しい気持ちで不完全燃焼で終わりました。目標に掲げていた、三年生の中で十番、という目標も果たせませんでした。今日か

陸上競技部

東北新人を終えて



二年一組
遠藤 諒人
(米沢五)

私のこの大会での課題はもう一度十秒台で走ることでした。なので、いつもより順位に対して深く考えなかった分、気持ち的に楽にレースに入れました。ですが、一〇〇mの予選では、なぜか緊張してしまい、スタートでミスをしてしまいました。ですが、周りの皆の一声や、マッサージなどのサポートなどが自分の気持ちを押しつけてくれ、強気で決勝レースに挑みました。

ら出発する国体はインターハイと同じ場所であります。寒さ対策は練習の中で実行するのみです。そして順位にとらわれず、自分の力を一〇〇%出しきれぬ走りをするのに最大限の集中力を使い、山形県の代表として恥のない走りをしてきます。自分に自信を持ち感謝の気持ちを忘れず、後からついてきたい結果に喜んでもらえるよう頑張ります。ご声援、よろしくお願ひします。………

一〇〇mの決勝では、自分の持ち味を出せて優勝することができました。タイムも十秒台を出せたので良かったです。二〇〇mでも後半での競い合いで気持ち負けしなかったのが優勝につながったと思います。

この大会で勝てたことは自分にとって自信にもなり、新たな目標を立てることができました。沖縄インターハイに出て決勝で勝負するために、これからも頑張りたいです。

Jrに出場して、東北優勝について



二年六組
浅井 智佐
(長井北)

インターハイを経験した後の東北新人大会は、百メートル障害と四百メートル障害での優勝を目標に置いていました。大会初日に競技があつた百メートルハードルは、ライバルと思つている人が棄権し、気持ちに緩みが出てしまいました。予選の冴えない走り、入り切っていない心のスイッチを、コーチや監督に指摘していただき、喝を入れていただき臨んだ決勝では、良い風が吹いたこともあり十四秒二四の

大会新記録で優勝することができました。四百メートル障害は欠点が大きくてしまい、二位という結果でした。また、山梨で開催された日本ユースでは、全国大会独特の緊張で得意な前半で力んでしまいました。予選は後半競り勝ち一着で準優勝へ進みました。準決勝四着以内で決勝進出でしたが、私は五着。あと少し。あと百分の何秒。ほんの少しの全国の壁と、自分の甘さや弱さを痛い程感じました。高校最後の夏、トラックに九里の風を必ず巻き起こします。

東北新人大会は不安のある中での出場となりました。県新人大会頃から思うような走りが出来ず自己ベストを大幅に下回る記録を出してしまいました。原因は貧血の悪化でした。県新人大会から東北新人大会までは二週間程しか間が無く心配なところはありました。毎日の鉄分の多くを含まれている食品を多く摂ったりして大会に臨みまし

東北新人優勝して



二年五組
遠藤 紗耶香
(米沢三)

私は、男子少年Bの円盤投げで新潟国体に出場してきました。自分にとって、初めての国体という大会で独特な雰囲気、今までの大会では感じた事のないような緊張感がありました。

試合が始まりサークルに入ると、肩に力が入りいつもの自分の投げができないまま終わってしまいました。また、

た。まだまだ自分の力を出しきることが出来ず、最終種目の八百メートルは自分との戦いでした。そんな中でも走り高跳びでは五月以来に自己ベストを更新することができました。全体的には自分の納得のいくような記録ではなく、なんとか掴んだ優勝、というような感じではあります。来年に向けた第一歩となりました。自分の課題を克服し、沖縄インターハイに出場すること。そしてそこで最高のパフォーマンスが出来るように頑張っていきたいと思えます。

私は、男子少年Bの円盤投げで新潟国体に出場してきました。自分にとって、初めての国体という大会で独特な雰囲気、今までの大会では感じた事のないような緊張感がありました。

団体に出場して



一年一組
金子 堯宙
(高畠一)

私は、男子少年Bの円盤投げで新潟国体に出場してきました。自分にとって、初めての国体という大会で独特な雰囲気、今までの大会では感じた事のないような緊張感がありました。



結果は記録なしということ、とても悔しい形で終わってしまいました。今回の大会を通して改めて自分の精神面の弱さを感じさせられました。しかし課題ばかりだけではなく、大きな舞台で投げられて、とてもいい経験がめたと思います。来年の全国大会出場に向けて冬の練習を本気で取り組み自信につなげられるようにしていきたいです。

がんばる部活動

ソフトボール部紹介

vol.4

ソフトボール部

部長…二年 神田ちづる (南原)
 副部長…二年 大谷 美穂 (高島二)
 部員

- 三年 手塚 優衣 (米沢一)
 - 二年 尾形 未来 (米沢二)
 - 二年 佐藤 彩名 (米沢四)
 - 二年 宮澤 知世 (南原)
 - 二年 加藤 千佳 (南原)
 - 一年 大野 真依 (高島二)
 - 一年 佐野麻祐子 (米沢二)
 - 一年 金子 亜未 (高島二)
 - 一年 青木優希子 (米沢二)
 - 一年 高橋 由佳 (米沢二)
 - 一年 高橋 楓 (高島二)
 - 二年 洞内 幸 (米沢二)
 - 二年 佐藤菜津美 (米沢七)
- マネージャー
 マネージャー



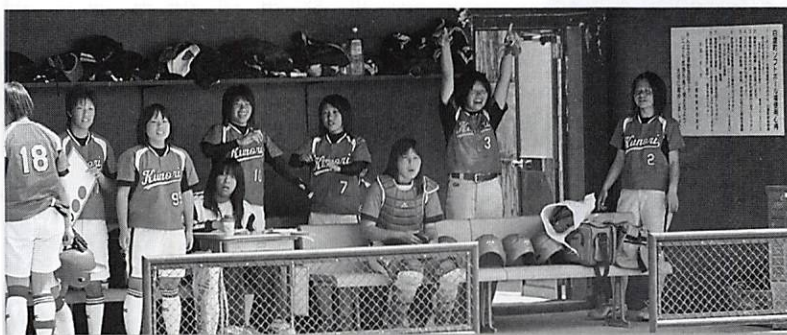
「ソフトボール部」について

部長 二年四組 神田ちづる

私達ソフト部は部員十四人で活動しています。一人一人とても個性があり楽しい人ばかりが揃っています。秋の新人戦ではプレッシャーに負け、気持ちでも技術でもすべてが劣っていました。しかしこの大きな敗戦は逆にチャンスだと思えます。まだまだ課題はたくさんありますが、春の大会のリベンジに向けチーム一丸となって頑張っていきたいと思えます。ぜひ応援よろしくお願ひします。

実績

- H 13 県新人3位 (H14年度 県優秀チームとして指定される)
- H 14 地区春季優勝、県ベスト8
- 地区新人優勝、県私学2位 (東北大会出場)
- H 15 地区春季優勝
- H 18 地区春季2位





「ソフトボール」をしてきて

部員 二年四組 大谷 美穂

ソフトボールをしてきて学んだことがあります。それは、「精神力」です。どんなに技術が上手くても、精神的に強くないともし、ミスをしたときや打てなかったり、しっかり守れなかったときなどに立ち直れなかったら勝てないので、何年か試合をしてきて精神力をいろんなところで学びました。



ソフトボールで学んだこと

部員 一年三組 金子 亜未

私がソフトボールで学んだことは、たくさんありますが、一番はチームワークの大切さです。仲間と協力し、助け合い、そして一つの目標に向かって一生懸命に取り組むチームワーク。これは社会にでて行っても同じことだと思えます。私はソフトボールをしていて、よかったと実感しています。これからも頑張りたいです。



顧問から

今年のソフトボール部は、非常に高い潜在能力を持っていると思います。地区優勝、県大会ベスト8を狙うことができる実力があると思います。課題はメンタル面です。接戦や先制点を取られた試合に弱いですが、雰囲気を持てず、強い心を持って、どうやって勝ちゲームに持っていかを選手の皆さんに考えて欲しいと思います。

佐藤健太

各部の奮闘!!

活動を振り返って

男子陸上競技部

応援の力



三年二組
外山 博規
(米沢五)

今年一年を振り返って、一番印象に残っているのは東北大会のリレーです。私達は、インターハイを目指し毎日練習に取り組んできました。個人種目はもちろんですが、リレーで出場したいという気持ちが強かったと思います。なぜなら、リレーはチームの力を表します。リレーが強ければ、チームの結束力も強いということです。

インターハイに出場するには、東北大会で六位以内に入る必要があります。予選、準決勝を無事通過して、決勝を迎えました。

決勝では、仲間、先生方、保護者の方の応援が力になり、三位入賞することが出来ました。応援して下さった方が自分のことのように喜んでくれてとてもうれしかったです。この時のことは、忘れることが出来ません。

最後に、応援して下さいみなさま、本当にありがとうございました。

女子陸上競技部

一年を振り返って



三年四組
羽田 美穂
(長井北)

今年、九里陸上部は三十三年インターハイ出場することができました。その中には私は部長として、陸上部を引っばって来ました。

最初はすっかり部長としてやっていくか、そして目標であるインターハイ出場など、多くのことが不安となっていました。しかし、部員みんなの支えがあり、一年間やってこれたのだと思います。

コーチや先生方にはたくさん迷惑をおかけしました。しかし、多くのアドバイスを頂け、今まで続けられたのだと思います。

これから、一・二年生には、さらに練習を積み重ねていって、来年もインターハイへと一人でも多くの人が出場していつてもらいたいと思います。

野球部

一年間を振り返って



三年一組
齋藤 哲
(米沢五)

自分は去年、硬式野球部として野球部を引っばって来ました。今、振り返ってみると野球部で過ごした二年半はとても短く感じました。一番の思い出は最高の仲間達と野球をやれたことだと思います。

人間は一人では、生きていけないものです。そして野球や団体競技は、一人では、絶対勝てません。この仲間がいなかったら九里学園硬式野球部のモットーの元気良く笑顔でプレーするということはできなかったと思います。

この仲間と高校野球を共にできたことに感謝し、これからの人生につながっていききたいと思います。



男子卓球部

部活動を振り返って



三年二組

情野 裕作

(米沢五)

私は、先輩達の引退後部長をすることになりました。いままで先輩の背中を見ていた私が部長になり、これから部活を引っ張っていくことになりました。「前の部長のように堂々とできるか」「どうすればいいのだろう」と不安が多かったですが、仲間達と一緒に楽しくそしてお互いに協力しながらとても良い環境で部活の雰囲気を作ることができました。試合の時でも全員が必死になり声を出して、仲間の勝利を祈りました。試合に勝った時はみんなで笑いあい、負けた時もみんなが悔しがり、そんな最高のチームで部活ができた慶びを先輩達には覚えていてほしいと思います。このような経験は日常や部活から、ふとした時に思える仲間への信頼感があってこそだと思います。先輩達には素直に、「お互いに認めあい信じて」高体連までの日常、そして部活動に励んでほしいと思います。

女子卓球部

部活動を通して



三年四組

奥村 佳奈

(川西一)

今年度は本当にいろいろな出来事があったなと感じます。まずは、部員が増えてとても楽しく部活動をする事が出来ましたが、その反面、指示したりみんなをまとめるのが大変でした。しかし、人数が多いことは、台が使えないということがありましたが、使えない分台を使っている時にその時間を大切に、集中してできたのではなかなと思えます。そして、私が思ったことは、応援の力はすごいなと思いました。自分が勝っている時でも、負ける時でもすごく励みになりすごく心強くなり、応援してくれている方のためにも頑張らなくちゃと思います。周りのチームをみても思えます。応援のすごいチームは、上位にやはり残っているなと感じました。どの部活でも先輩達には一つでも多く勝ちインターハイ目指し、頑張ってくださいです。卓球部を支えてくれた方々、本当にありがとうございました。

男子バスケットボール部

一年間を振り返って



三年一組

伊藤 貴紘

(米沢二)

昨年を振り返ってみると部員がマネージャーを含め、四人というわずかな人数からのスタートでした。人数が少ない分、誰がけがをしても練習の内容をかえなくてはなりませんでした。そのため部員一人一人がとても重要な存在でした。

夏休みなどの長期休暇の時は、顧問の先生と一緒に練習に参加し、身体的にも精神的にも強くなることができたとおもいます。

新入部員が入ると、人数も大幅に増え、練習にさらに意欲的に取り組むことができました。

高体連では、県大会に出場することが叶いませんでしたが、一勝することができました。

昨年は目立った成績は残せなかったけど、とても充実した一年だったと思います。

今まで支えて下さった保護者の方々、顧問の先生本当にありがとうございました。

女子バスケットボール部

一年間を振り返って



三年四組

佐野比奈子

(米沢二)

三年生になり毎日がとても早く過ぎていき、もうすぐ卒業式を迎えようとしています。

今年一年間を振り返ってみて、一番思い出深いのは部活動です。私は三年間バスケット部で活動し、部長を務めました。苦しいことや辛いこともたくさんありましたが、仲間が支えてくれ、やり遂げることが出来ました。最後の県大会も、一回戦敗退という結果で終わってしまいましたが、後悔はしていません。三年間バスケットをやってきて良かったと思えました。こうして頑張ってきたのも、支えてくれる人や応援してくれている人が居たからだと思います。これから自分の進路に向かって進んでいきますが、常に感謝の気持ちを持って頑張っていきたいです。



男子バドミントン部

僕のバドミントン部を振り返って



三年一組
神田 倫
(南原)

私は、二年生の六月に男子バドミントン部に入部しました。私の大会成績は、特に目立つものがありませんでしたがいつも、大会で活躍するために、日々のトレーニングを地道に行っていました。大会での入賞はできませんでしたが初心者で始めたバドミントンでしたが、その奥深さがわかってきたので、機会があったらまたやっていきたいです。

私は、これから大学に進学するわけですが、バドミントン部で習った結果がでなくても地道に努力する大切さを学びました。それを、これからの生活に生かしていきたいと思います。バドミントン部の後輩は、もっと活躍できるように努力して欲しいと思います。

最後に高木先生や中山先生を始め応援してくださった先生方、保護者の皆様ありがとうございました。

女子バドミントン部

感謝



三年七組
色摩 友佳
(米沢六)

私達は地区大会優勝という目標を掲げ、夜練習にも積極的に取り組み、一生懸命練習に励んできました。特に、私達三年生にとっては最後の年だったので、優勝への思いは大変強いものでした。優勝してみんなと最後にいい思い出を作りたいという思いもありました。でも、三年間厳しくも温かいご指導をしてくださったコーチや先生、今まで支えてくれた家族のためにも優勝したいという思いが一番にありました。しかし、結果は二位で目標を達成することはできませんでした。男子の優勝校の生徒が先生を胸上げてしている姿を見て、私達も優勝カップをもらって、コーチを胸上げてあげたかったという悔しい気持ちが入り込んできました。

高校生活最後の年、目標が達成できなかったことに、とても悔いは残りませんが、その悔しさをバネにそれぞれの夢に向かって、一層努力していきます。三年間、本当にありがとうございました。

サッカー部

サッカー部での活動を通して



三年七組
安部 恭平
(南原)

私達サッカー部は人数が少ない中、一人一人が集中して日々の練習に取り組みできました。私は部長として部を引っ張っていく立場で活動してきましたが、他の部員や顧問の先生方達に支えられ、充実した活動ができたと思います。大会ではいい結果を残すことはできませんでしたが、一人一人が精一杯プレーできたと思います。最後までがんばることができたのは、良い指導者、良い環境に恵まれ、様々な方に支えられて活動してきたからだと思います。後輩達には、私達ができなかったことにどんどん挑戦して欲しいと思います。サッカー部での活動を通して学んだことを今後の人生に生かしていきたいと思っています。

私達サッカー部は人数が少ない中、一人一人が集中して日々の練習に取り組みできました。私は部長として部を引っ張っていく立場で活動してきましたが、他の部員や顧問の先生方達に支えられ、充実した活動ができたと思います。大会ではいい結果を残すことはできませんでしたが、一人一人が精一杯プレーできたと思います。最後までがんばることができたのは、良い指導者、良い環境に恵まれ、様々な方に支えられて活動してきたからだと思います。後輩達には、私達ができなかったことにどんどん挑戦して欲しいと思います。サッカー部での活動を通して学んだことを今後の人生に生かしていきたいと思っています。



バレーボール部

バレー部部长としての一年間



三年六組
佐藤 絢香
(米沢一)

バレー部の部長としての一年間は、喜怒哀楽がいっぱいでした。最初は、部長としてやっていけるか心配でしたが、部長の役目は、皆を指示したりまとめたりしなくてはならないので少しとまどったりしました。

部長としての一年間は、皆のつらさを感じ、少しでも団結できた一年間でした。まとまりがない時ややる気がないときは、皆で話し合ったり言いたいことは全て言ってもらったりしました。こんなことになったのは、部長の私かわるいのではないかと気にしていました。ですが、皆はこんな部長を心配してくれてとてもうれしかったです。私にとってバレー部の皆は、宝物です。つらいことや悲しいことをバレー部皆で乗り越えてきました。最後に、とって最高の一年間でした。最後に、支えて下さった顧問の先生と保護者の皆様に感謝したいと思います。

ソフトボール部

成長



三年五組
手塚 優衣
(米沢一)

この一年間を振り返って、私はとても充実したものになったと思う。ソフトボールをしていなければ、自分自身成長することも学べることもなにもなかったと思うからだ。先生や後輩、他にも沢山の人に出会い、その一人一人からの、沢山学べるものがあり、自分の成長にも繋げることができた。また、怪我をしたことによって、チームでの自分の存在の意味を知ることができ、その後の試合ではしっかりと主将の仕事を果たすことができたと思っている。一年という短い中で、私は沢山の事を経験し、ひとまわりもふたまわりも成長できたのではないかと思う。周りで支えてくれた人、一人一人にとっても感謝しています。



男子テニス部

一年を振り返って



三年一組
色摩 貴大
(米沢三)

私の高校最後の部活はとても充実していました。部長という仕事をして、部員をまとめたり、練習メニューを考えるなど、日常生活では決して経験しないようなことをしてきました。このテニス部で学んだことは、必ず将来に役立つと思います。これを生かし、自分のスキルを高めていきたいと思いません。

ですが、充実して過ごしてきた一方で、心残りなこともありました。それは、怪我で最後の高校総体に出場することが出来なかったことです。三年間の集大成を最後の総体で出せなかったことはとても悔しいものでした。ですが、総体に出れない分、他の部員に頑張ってもらおうと思い、指導する側になりました。部員のために色々な面でサポートすることが出来てよかったです。部活してきて、良い事、悪い事がたくさんありましたが、今では良い思い出です。部員と過ごした日々を忘れずに大学でもテニスを続けたいと思います。

女子テニス部

三年間部活を頑張ってきた



三年三組
近野 桃子
(高畠四)

部長になってから振り返ると、一緒に喜んだり、意見の食い違いがあったり等色んなことがあり、とても充実していたと思います。また、各種大会では、良い成績を収めることができました。良い成績を収めるだけでなく、自分の良いところや悪いところを見つけることができました。九里テニス部の悪いところは、精神面の弱さがありました。それを克服しようと思ってきました。

テニス部に入ってから、礼儀や感謝の気持ちの大切さを学ぶことができました。社会に出てから、必要なもので部活動で学べてよかったです。一・二年生にも学んでほしいと思いました。



弓道部

感謝の気持ち



三年四組
寒河江真樹
(米沢二)

私は、弓道部の活動を通して、多くのことを学んできました。技術面はもちろんのこと、部長という立場になつてからは、人をまとめることの大変さを改めて実感しました。特に弓道部は、他の運動部と違って男女一緒に活動しているのです。どういう風に部員を引っ張っていけば良いのかと、不安でいっぱいでした。でも、顧問の先生や仲間を支えられ、最後まで部長として活動することができました。

最後の大会では良い結果を残すことはできなかったけど、日々の練習で、集中力や忍耐力を身につけることができたし、仲間たちと目標に向かって助け合い、くやしい思いをした時は励まし合ったりして、絆を深めることができました。

顧問の先生はじめ、仲間には感謝の気持ちで一杯です。この経験をこれからの生活に生かしていきたいです。

体操部

高校生活最後の体操



三年七組

黒田 悠介

(米沢二)

再び体操を始めてから一年、三年生の春が来た。二年生の時の大会と比べて、私の体操もずいぶん上達した。五月の地区大会では、今まで苦手だった鉄棒や鞍馬も、二年生の時よりも上手くなっていった。置賜で出場していたのは、私一人だけというさびしい大会だったが、村山の人たちと一緒に演技をしたので、それほどでもなかった。県大会があつたのは六月で、地区大会からの一ヶ月間は、あまり練習の期間はなく、ほとんど上達がないまま本番を迎えることになった。結果、個人総合第十二位で、東北大会へ進むことができなかったが、全力を出し切り、悔いのない演技ができた。この経験を、私の今後の人生に役立てていきたいと思う。

水泳部

今年一年を振り返って



二年六組

鈴木 悠希

(米沢二)

今年度の大会結果は、夏の大会、新人戦共にあまり良いものではありませんでした。

夏の大会は、東北に出場したものの決勝には進まずベストを出すこともできませんでした。

秋の新人戦は、東北に出場した種目が一種目のみでプログラムで二日目の一番最初だったため、あつという間に終わってしまいました。

今年はずっと満足できる結果ではありませんでした。しかし、だからといって意味のない一年だったとは思っていません。今年は何が足りなかったのか、これからどのように練習に取り組んでいくべきなのか、ということを考えさせられる一年になったのではないかと思います。来年度こそずっとやってきた水泳で良い結果が残せるように、今から日々向上を目指し頑張っていきたいと思えます。

スキー部

今年一年を振り返って



三年三組

佐藤 香澄

(米沢五)

私が三年生になってから、スキー部は部として認められました。一・二年生の頃は活動しているのかどうかなんて知らない生徒が多かったです。そんなスキー部は様々な練習場所で行なうトレイニングをしてきました。十五キロランニングや競技場を使ってのTT、インターバル、夏にはローラースキーをしたり、山へ行って登山家のように山を登り、何十回と合宿をしてきました。

毎日、毎日練習の日々でしたが、仲間四人で頑張ったことは、一生の思い出です。

茶道部

一年を振り返って



三年三組

栗木 聡美

(米沢五)

今年の茶道部は、学校の行事はもちろんです。地域の活動にも積極的に参加してきました。私が一番に残っているのは、最後の九里祭です。私が茶道部に入部した時、三年生の先輩はいませんでした。人数が少ないという理由から、一年生の時にお点前を教えてもらい、初めての九里祭で、人前でお点前を経験しました。初めてお点前をしてから約三年が経ちました。最後の九里祭では、自分達が今までやって来たことが、発揮できたと思います。部活を引退して、今は二年生が一年生に指導しているわけですが、茶道というのは、何回も繰り返して動作を覚えていきます。なので、途中で諦めたりはしないでほしいと思います。これから頑張ってもらいたいです。



吹奏楽部

最高の仲間との出会い



三年四組
須貝 沙織
(川西一)

私はこの三年間で、沢山の良い思い出ができました。一番の思い出は、三年の夏のコンクールです。とても熱い夏になりました。全員で一つの目標に向かって必死に練習に取り組みました。練習をしていく中で、壁にぶつかり大変な時期もありましたが、皆がいたおかげで乗り越えることもできました。こうやって辛い時も一緒にいそってくれる仲間に恵まれたことに感謝しています。コンクールの結果は県大会、金賞で終わってしまいました。夏の取り組みで強い絆が生まれ、団結力が深まりました。結果はついてきませんでした。結果以上のものを得ることができました。あつという間の三年間でしたが、とても充実していました。最高の仲間と演奏することができ、なにより皆と出会えたことが一生の宝物です。最後に今までついてきてくれてありがとう。と心から皆に伝えたいです。

書道部

感謝



三年五組
蔵田 泉
(米沢七)

私達書道部は、五名という少ない人数で毎日の活動を充実させてきました。九里祭では、伝統の書道吟をはじめ、大河ドラマ「天地人」にちなんだ作品を制作しました。ペットボトルのキャップを集め、「愛」・「義」・「利」の三文字を三年生最後の作品として作りました。パネルの並べ方にもひと工夫あり、愛にちなんで「I」の形に並べました。

私達は、あまり良い成績を残す事は出来ませんが、部員みんなで協力し、楽しく明るい、充実した活動を送ることが出来ました。

由美先生はじめ、書道部を支えて下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございました。

ダンス部

一年をふり返って



三年四組
齋藤 花奈
(米沢五)

この一年間の部活をふり返って、とくに思い出に残っているのは「オールジャパンダンスフェスティバル神戸」に出場できたことです。

この大会に初めて出場することができ、嬉しい反面、不安もたくさんありました。今までのダンス部の活動は、お客さんに見てもらい、楽しんでもらうものだったけれど、今回は大会ということで、他の学校と競うことも順位がつくのも初めてで、今まではない緊張感を味わうことができました。今回良い結果を残すことはできなかったけれど、次につなげるための良い経験になりました。また、今回の大会のためにマネージャー二人が私たちのために作ってくれたお守りは、とても大切な宝物になりました。

みんなと初出場できたことを誇りに思い、より絆を深められる一年になりました。

新聞部

夏・花・桃



三年三組
佐藤 千夏
(米沢七)

私は、新聞部に所属し部長を務めさせて頂きました。新聞部では記事を書いたり編集したり、毎年夏休みには文芸部とイラストアニメ愛好会と一緒に東北各県を旅行したりしています。

新聞を書くことにより九里学園のことについてや米沢地区のことなどを広い目で見たり知ることができたと思います。また、言葉の使い方も学ぶことができましたので受験にも大変役立ち、この部活に所属してよかったと思います。

一、二年生には、今までの先輩方が築きあげてきてくれた伝統を引き継ぎ、みんなが楽しめるような新聞を作り、県内トップを狙ってほしいです。そのため仲間と協力し、いろいろな視点に目を向けて頑張っていってほしいと思います。

上村先生、いつも私たちを温かい目で見守って下さり、声をかけて下さったことがとっても嬉しかったです。ありがとうございました。後輩たちをよろしく願います。

JRC部

部長になって…



三年六組
佐藤 恵美
(米沢四)

三年生の先輩が引退し、私が部長を任されたとき、「私にはできない」と思っていました。私は、人前に立つ性格ではなかったので部長としてきちんとやれるのか不安で一杯でした。部長として部活動をはじめると、「責任」という言葉がいつも頭の中にありました。

でも、活動の中で副部長や部員、顧問の先輩に沢山の場面で支えてもらって、部長という仕事をあまり難しく考えずに務めることができました。

部長という役割を通して、人をまとめることの難しさ、人と絆を築くことの大切さなど沢山のことを学ぶことができました。

最後に、部員の皆や顧問の先生、支えて下さった皆さんに感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。

演劇部

仲間との最高の劇



三年四組
後藤 亜希
(米沢四)

今年を振り返って一番の思い出は、六月の定期公演です。私達は今回「十一ぴきのネコ」というミュージカルに挑戦しました。

ミュージカルをやるからには役のセリフとともに歌やダンスも覚えていかなくてはいけないので、慣れない事に身体的にも精神的にも疲労が溜まる日々を送りました。しかし、我ら演劇部は自分達にしか出来ない最高の劇をお客さんに見て頂く為に毎日必死に練習を積み重ねていきました。

そして本番当日。劇を行っている間はもう無我夢中でした。最後に会場からたくさんの拍手が聞こえた瞬間、一気に気持ちが溢れてきたのを覚えています。お客さんの中に泣いている方も何人かいらつしゃって、ああ、良い劇出来たんだなあ、と喜んですごく嬉しかったです。

高校生活最後の集大成に「十一ぴきのネコ」を公演出来たことを誇りに思っています。演劇部に入学して本当に良かったです。

文芸部

文芸部の活動を振り返って。



三年七組
高橋 諒
(赤湯)

文芸部の活動は、詩や小説を書くこととです。昨年はただ漫然と文章を書くだけでしたが、今年は、その月の短歌を書く、俳句を書く、小説を書く、と目標を決めて活動をとりに行うようになりました。

また、今年から大きく変化した点はイラスト・アニメ愛好会と共同作業を行うようになったことです。例えば、文芸部が書いた詩や俳句に絵を描いてもらう。逆にイラスト・アニメ愛好会に描いてもらった絵に、詩や俳句を書く。このような共同作業は新鮮で、とても楽しいものでした。

そして、九里祭では「天地人」の直江兼統の愛のかぶとにちなんで、「愛」をテーマに小説の文章を抜き出し、写真とともに展示しました。

様々な変化があり、部長としてとまどうこともありました。その分多くのことも学べました。この経験を今後の人生の中で役立てていきます。

生活科学部

一年間を振り返って



三年四組
渡辺 美智
(米沢七)

私は、部長という役割に就いた時、不安でいっぱいでしたが、部員のみんなの支えがあり最後まで頑張ることが出来ました。そして、その中で「周囲の支えは心の支え」ということを学びました。私は何かあると一人で抱え込んでしまいがちでしたが、そうなる前に、自分が信頼している友人・先生に相談できるようになりました。

今年度の文化祭も昨年度と同様に、クッキー販売・被服室での展示を行いました。今回は、クッキー販売の方法を少し変え、モールを拠点としながらトレーにクッキーをのせ、人が多く集まるところで移動販売しました。その結果、約一時間で完売することができ、部員全員で喜びました。

私は、部活動を通して、仲間と協力することの大切さ、仲間とものを作ることの楽しさを知ることが出来ました。顧問の先生方・部員のみなさんありがとうございました。

PC 愛好会

今年一年を振り返って



三年四組

大河原明美

(漆山)

私は、PC愛好会の部長としてみんなを引っ張って行くことが出来るかとても不安でした。しかし、活動をして行く中で、先生方、部員のみんなが協力し支えてくれて楽しくなりました。主な活動は、情報処理検定とワープロ検定に向けて練習をする事で部員全員真面目に一生懸命取り組んでくれました。私は、最後の検定取得した時は、凄く嬉しかったです。

もう一つ活動中で少し大変だった事は、校内弁論大会の原稿をワードでデータ化して入力する時、原稿の文章の内容が長くて時間がかかった事、漢字の読み方が分からない時もありました。その時はお互い協力し合って完成したときは、辛さ、喜び、達成感を体感しました。部活を通していろんな事を経験して成長することが出来ました。後輩達もお互い協力し合い、また、一生懸命練習をして検定取得するように頑張っていました。

今までありがとうございます。

イラスト・アニメ愛好会

一年を振り返って



三年四組

野部千夏

(南原)

私の場合、一年ではなく半年活動したというのが正しい。それに、イラストアニメは一度廃部してしまったというのもある。

主な活動は、お題にちなんだ絵を描くこと、また、文芸部が書いた詩に合う絵を描いたりした。一・二年の頃は絵を描く時間あまりなく上達したいと思ってもなかなか出来なかったが、今年はイラストアニメに入り絵の上達もし、絵を描く仲間も増えて良かったと思った。部活で研修旅行があり、初めての体験だったので、新鮮で楽しかった。

たった半年くらいの活動だったが、部員のメンバーと楽しんで絵を描いたり好きなマンガの話をしたりすることができ、この部活に入って良かったと思った。

先生たちも頑張っています!!



大滝 勤 先生

卓球
世界ラージボール選手権大会(横浜)
40代男子
シングルス日本代表
ミックスダブルス日本代表



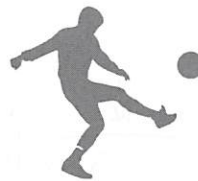
荒井 雄介 先生

卓球
全日本社会人選手権山形県予選
30代男子 シングルス優勝
全日本社会人選手権出場 (山口)



中山 大輔 先生

バドミントン
ナイターリーグ 置賜選手権出場



佐藤 秀人 先生

サッカー
天皇杯全日本選手権県代表チーム
FCパラフレンチ米沢所属



原田 隆弘 先生

陸上
全日本実業団陸上競技選手権大会(岡山)
200M B決勝 5位

先生たちも生徒に負けず、試合に出て頑張っています。今後の活躍に注目しそして応援よろしく☆



体育系部活動

全国大会

陸上競技部

全日本ユース陸上選手県大会

(10月16日)

100Mハードル 準決

5位 浅井 智佐(2年 長井北)

14秒59

国民体育大会

(10月4日)

少年B 円盤投

出場 金子 堯宙(1年 高島一)

記録なし

スキー部

第59回全国高等学校スキー大会

(2月2日~7日)

女子クロスカントリイ5km

(クラシカル)

30位 近田 沙稀(2年 米沢五)

44位 島貫 蓮(3年 米沢三)

60位 佐藤 香澄(3年 米沢五)

女子クロスカントリイ10km (フリー)

37位 近田 沙稀(2年 米沢五)

44位 島貫 蓮(3年 米沢三)

62位 佐藤 香澄(3年 米沢五)

女子クロスカントリイ5km x 3

人(1走クラシカル、2・3走フリー)

第22回全国高等学校選抜スキー大会

(2月11日~13日)

女子クロスカントリイ5km

(クラシカル)

51位 島貫 蓮(3年 米沢三)

57位 近田 沙稀(2年 米沢五)

70位 佐藤 香澄(3年 米沢五)

女子クロスカントリイ5km (フリー)

40位 近田 沙稀(2年 米沢五)

36位 島貫 蓮(3年 米沢三)

68位 佐藤 香澄(3年 米沢五)

東北高校新人大会

陸上競技部

男子1000M

1位 遠藤 諒人(2年 米沢五)

10秒99

5位 齋藤 和磨(2年 川西一)

11秒23 予選 11秒02

男子2000M

1位 遠藤 諒人(2年 米沢五)

22秒05

走幅跳

10位 米野 敬介(2年 小国)

6M44

三段跳

10位 米野 敬介(2年 小国)

12M98

砲丸投

9位 金子 堯宙(1年 高島一)

12M87

円盤投

17位 金子 堯宙(1年 高島一)

33M56

4x400mリレー

島貫 大貴(1年 高島一)

遠藤 諒人(2年 米沢五)

相馬 彪士(1年 川西一)

齋藤 和磨(2年 川西一)

3分25秒81

女子2000M 予選 5着

柿崎 美里(2年 米沢三)

26秒19

女子4000M予選 6着

柿崎 美里(2年 米沢三)

59秒81

女子800M 予選 8着

山口美里樹(1年 米沢四)

4分55秒75

女子1000Mハードル

決勝1位 浅井 智佐(2年 長井北)

14秒24 大会新記録

女子4000Mハードル

決勝2位

浅井 智佐(2年 長井北)

63秒14

走幅跳

17位 山口 怜佳(2年 米沢二)

4M86

7種競技

1位 遠藤紗耶香(2年 米沢三)

4036点

4x100mリレー 決勝

外山 佳奈(1年 米沢五)

浅井 智佐(2年 長井北)

佐藤 愛(1年 米沢六)

柿崎 美里(2年 米沢三)

48秒75

4x400mリレー 決勝

長谷川智子(1年 白鷹東)

浅井 智佐(2年 長井北)

山口 怜佳(2年 米沢二)

柿崎 美里(2年 米沢三)

3分59秒52



卓球部

出場者

男子シングルス

22位 梁 宏博(2年 中国)

36位 左右田和馬(1年 長井北)

女子シングルス

7位 姜 晓 旭(1年 中国)

48位 安部 史絵(2年 川西一)

53位 大滝 幹実(1年 長井南)

スキー部

女子クロスカントリイ5km(フリー)

12位 島貫なつみ(1年 米沢三)

県新人大会

陸上競技部

男子100M

優勝 遠藤 諒人(2年 米沢五)

決勝 10秒88(自己新)

3位 齋藤 和磨(2年 川西一)

決勝 11秒28

6位 長谷川 涼(1年 川西一)

予選 12秒25

男子200M

優勝 遠藤 諒人(2年 米沢五)

決勝 22秒24(自己新)

3位 島貫 大貴(1年 高島一)

予選 24秒14

7位 長谷川 涼(1年 川西一)

予選 24秒62

男子400M

4位 齋藤 和磨(2年 川西一)

予選 54秒34

4位 島貫 大貴(1年 高島一)

予選 53秒36

男子800M

5位 廣瀬 七生(2年 山形四)

決勝 2分01秒11(自己新)

失格 佐藤 広樹(2年 山形六)

男子1500M

12位 廣瀬 七生(2年 山形四)

決勝 4分19秒93

男子1100Mハードル

8位 相馬 彪士(1年 川西一)

決勝 17秒28

男子400Mハードル

6位 相馬 彪士(1年 川西一)

決勝 59秒93(自己新)

男子5000M

7位 青野 潤紀(1年 高島三)

決勝 28分30秒70(自己新)

野球部

一回戦 シード

二回戦 ●九里 5-12 酒田西○

(8回コールド)

(出場メンバー)

佐々木典寛(2年 川西一)

渡部 裕人(1年 長井南)

三浦 佑介(2年 七ヶ浜)

黒田 仁(2年 高島四)

佐藤 祥平(2年 米沢二)

金子 瞭(1年 高島三)

高橋 呈侑(2年 高島三)

小池 啓友(2年 長井南)

渡部 翼(2年 沖郷)

齋藤 充樹(2年 弥栄)

嘉藤 達彦(1年 飯豊)

舟山 健太(1年 小国)

竹田 尚平(1年 高島四)

遠藤 尚(2年 南原)

齋藤 雄樹(1年 高島三)

渡部健太郎(2年 米沢五)

白石 瑞希(1年 宮内)

女子バスケットボール部

ベスト8

二回戦 九里○76-酒田西●75

三回戦 九里●53-山形中央○82

NHK杯出場権獲得

佐藤 成美(2年 米沢五)

嵐田 真奈(2年 米沢五)

斎藤明日美(2年 高島四)

高橋加奈恵(2年 沖郷)

吉田 江里(2年 米沢五)

長岡奈緒美(2年 米沢五)

米野瑛莉香(2年 米沢四)

遠藤 瑞穂(2年 米沢四)

加藤 美咲(2年 宮内)

石井美沙樹(1年 米沢五)

卓球部

山田 真耶(1年 米沢二)

近野由莉香(1年 高島四)

鈴木 里奈(1年 米沢七)

男子団体

男子個人戦

ベスト8

梁 宏博(2年 中国)

三回戦敗退

遠藤 駿介(1年 飯豊)

二回戦敗退

加藤 琢也(1年 米沢四)

一回戦敗退

遠藤 優太(2年 米沢四)

男子団体戦

伊藤 耕平(1年 飯豊)

ベスト8

二回戦 九里○3-0鶴岡高専●

準々決勝九里●2-3酒田工業○

(出場メンバー)

金子 駿人(2年 川西一)

遠藤 優太(2年 米沢四)

梁 宏博(2年 中国)

左右田和馬(1年 長井北)

伊藤 耕平(1年 飯豊)

遠藤 駿介(1年 飯豊)

加藤 琢也(1年 米沢四)

女子個人戦

2位 姜 晓 旭(1年 中国)

三回戦敗退

安部 史絵(2年) 川西(1)

二回戦敗退

大滝 幹実(1年) 長井南

宮本 萌詩(2年) 飯豊

布施友莉恵(1年) 米沢(2)

片桐 碧美(1年) 高島(2)

小泉 七海(1年) 喜多方(2)

一回戦敗退

長沼 香苗(1年) 米沢(4)

内海 利保(1年) 喜多方(2)

女子団体戦 準優勝

二回戦 九里○3-1山形東●

準々決勝 九里○3-1谷地●

準決勝 九里○3-1山形城北●

決勝 九里●2-3山形西○

(出場メンバー)

宮本 萌詩(2年) 飯豊

安部 史絵(2年) 川西(1)

大滝 幹実(1年) 長井南

片桐 碧美(1年) 高島(2)

小泉 七海(1年) 飯豊

内海 利保(1年) 喜多方(2)

布施友莉恵(1年) 米沢(2)

長沼 香苗(1年) 米沢(4)

姜 暁 旭(1年) 中国

バドミントン部

女子団体

一回戦 九里●0-3山形西○

女子ダブルス

一回戦 0-2

黒坂 里恵(2年) 米沢(2)

伊藤 舞弥(1年) 米沢(2) 組

対 鶴岡北 田村・長谷川

一回戦 0-2

平田あゆみ(2年) 米沢(2)

黒田紗恵子(2年) 米沢(4) 組

対 鶴岡北 日向・井上

女子シングルス

一回戦 0-2

黒坂 里恵(2年) 米沢(2)

対 城北 吉田 美玖

女子団体

(出場メンバー)

黒坂 里恵(2年) 米沢(2)

平田あゆみ(2年) 米沢(2)

黒田紗恵子(2年) 米沢(4)

後藤 清奈(2年) 米沢(4)

伊藤 舞弥(1年) 米沢(2)

佐藤 緩奈(1年) 米沢(5)

香澤 佳奈(1年) 長井南

相田ちひろ(2年) 米沢(6)

八巻 有利(1年) 高島(3)

弓道部

女子団体 予選敗退

(出場メンバー)

吉田 夏実(2年) 米沢(5)

鈴木咲由里(2年) 高島(3)

加藤 愛(2年) 米沢(4)

猪野早也香(2年) 高島(3)

花山絵梨香(2年) 上山南

男子個人 予選敗退

伊藤 涼(2年) 米沢(1)

スキー部

第61回山形県高等学校

スキー大会

女子クロスカントリリー5km

(クラシカル)

9位 島貫 蓮(3年) 米沢(3)

インターハイ出場決定

10位 佐藤 香澄(3年) 米沢(5)

インターハイ出場決定

11位 近田 沙稀(2年) 米沢(5)

インターハイ出場決定

12位 島貫なつみ(1年) 米沢(3)

女子クロスカントリリー10km(フリー)

8位 島貫 蓮(3年) 米沢(3)

インターハイ出場決定

10位 佐藤 香澄(3年) 米沢(5)

インターハイ出場決定

11位 近田 沙稀(2年) 米沢(5)

インターハイ出場決定

12位 島貫なつみ(1年) 米沢(3)

女子クロスカントリリー5km×3

人(1走クラシカル 2・3走フリー)

3位 インターハイ出場決定

1走 島貫 蓮(3年) 米沢(3)

2走 近田 沙稀(2年) 米沢(5)

3走 佐藤 香澄(3年) 米沢(5)

地区新人大会

陸上競技部

男子100M

1位 遠藤 諒人(2年) 米沢(5)

決勝 11秒05

2位 齋藤 和磨(2年) 川西(1)

決勝 11秒39

3位 長谷川 涼(1年) 川西(1)

予選 12秒04

男子200M

1位 遠藤 諒人(2年) 米沢(5)

決勝 22秒59

8位 島貫 大貴(1年) 高島(1)

決勝 24秒51

3位 長谷川 諒(1年) 川西(1)

予選4組 24秒68

男子400M

3位 島貫 大貴(1年) 高島(1)

決勝 53秒28(自己新)



4位 齋藤 和磨(2年 川西一)	男子800M(タイムレース3組)	1位 廣瀬 七生(2年 山形四)	5位 佐藤 広樹(2年 山形六)	男子1500M(タイムレース2組)	1位(全体の3位)	廣瀬 七生(2年 山形四)	決勝2組 4分14秒06(自己新)	4位(全体の11位)	高橋 郁人(1年 南原)	決勝1組 4分28秒83(自己新)	5位(全体の12位)	佐藤 広樹(2年 山形六)	決勝1組 4分31秒14(自己新)	男子5000M	失格 高橋 郁人(1年 南原)	男子110Mハードル	2位 相馬 彪士(1年 川西一)	決勝 16秒73(自己新)	男子400Mハードル	2位 相馬 彪士(1年 川西一)	決勝 61秒54	男子5000M	2位 青野 潤紀(1年 高島三)	決勝 29分46秒09	男子砲丸投げ	1位 金子 堯宙(1年 高島一)	決勝 11M98			
男子円盤投げ(1・75k)	1位 金子 堯宙(1年 高島一)	男子走り幅跳び	1位 米野 敬介(2年 小国)	男子三段跳び	1位 米野 敬介(2年 小国)	決勝 12M74	男子400MR(タイムレース2組)	(全体の1位)	長谷川 涼(1年 川西一)	遠藤 諒人(2年 米沢五)	島貫 大貴(1年 高島一)	齋藤 和磨(2年 川西一)	決勝2組 43秒37	男子1600MR(タイムレース2組)	島貫 大貴(1年 高島一)	遠藤 諒人(2年 米沢五)	相馬 彪士(1年 川西一)	齋藤 和磨(2年 川西一)	決勝 3分29秒58	女子100M	2位 佐藤 愛(1年 米沢六)	決勝 13秒11	5位 外山 佳奈(1年 米沢五)	決勝 13秒67	女子200M	1位 柿崎 美里(2年 米沢三)	決勝 26秒74			
4位 佐藤 愛(1年 米沢六)	決勝 28秒42	6位 外山 佳奈(1年 米沢五)	決勝 28秒73	女子400M	1位 柿崎 美里(2年 米沢三)	決勝 60秒98	2位 長谷川智子(1年 白鷹東)	決勝 62秒39	女子800M	1位 長谷川智子(1年 白鷹東)	決勝 2分25秒30	女子1500M	1位 山口美里樹(1年 米沢四)	決勝 4分53秒13	女子3000M	1位 山口美里樹(1年 米沢四)	決勝 10分46秒61	女子100Mハードル	1位 浅井 智佐(2年 長井北)	決勝 14秒87	2位 遠藤紗耶香(2年 米沢三)	決勝 15秒82	3位 佐藤 愛里(1年 米沢六)	決勝 17秒38	女子400Mハードル	1位 浅井 智佐(2年 長井北)	決勝 64秒10	2位 山口 怜佳(2年 米沢二)	決勝 72秒20	4位 遠藤 翠(1年 長井南)
女子走り幅跳び	決勝 76秒65	1位 山口 怜佳(2年 米沢二)	決勝 4M99	6位 佐藤 愛里(1年 米沢六)	決勝 4M41	8位 駒形 麻波(2年 米沢五)	決勝 4M31	女子砲丸投げ	7位 栗田亜也加(1年 小国)	決勝 5M55	女子槍投げ	1位 菅野 恵美(1年 米沢三)	決勝 27M89(自己新)	7位 栗田亜也加(1年 小国)	決勝 19M53	女子円盤投げ	2位 菅野 恵美(1年 米沢三)	決勝 21M09	女子400MR	外山 佳奈(1年 米沢五)	浅井 智佐(2年 長井北)	佐藤 愛里(1年 米沢六)	柿崎 美里(2年 米沢三)	決勝 49秒25	女子1600MR	1位 長谷川智子(1年 白鷹東)	浅井 智佐(2年 長井北)	山口美里樹(1年 米沢四)	柿崎 美里(2年 米沢三)	決勝 4分10秒22

女子バスケットボール部

優勝

一回戦 九里〇76―興譲館●52
二回戦 九里〇66―長井●54
決勝 九里〇84―米沢商業●68

佐藤 成美 (2年 米沢五)
嵐田 真奈 (2年 米沢五)
斎藤明日美 (2年 高島四)
高橋加奈恵 (2年 沖 郷)
吉田 江里 (2年 米沢五)
長岡奈緒美 (2年 米沢五)
米野瑛莉香 (2年 米沢四)
遠藤 瑞穂 (2年 米沢四)
加藤 美咲 (2年 宮 内)
石井美沙樹 (1年 米沢五)
山田 真耶 (1年 米沢一)
近野由莉香 (1年 高島四)
山口 莉奈 (1年 米沢五)
鈴木 里奈 (1年 米沢七)
鈴木 里奈 (1年 米沢七)
鈴木 里奈 (1年 米沢七)

サッカー部

予選リーグ 10位

九里●0―1米沢商業○
九里●0―3米沢東○
九里●0―8米沢中央○
九里●0―2南陽高校○

順位決定戦

対 九里●2―0高島

〈出場メンバー〉

遠藤 拓也 (2年 米沢一)
吉田 昂平 (2年 米沢二)
長部 翔矢 (2年 南 原)
杉本 豪 (2年 南 原)
金子 昂史 (2年 高島二)
遠藤 拓真 (1年 米沢二)
平 龍希 (1年 米沢三)
古瀬 啓生 (1年 米沢三)
高橋 翔 (1年 宮 内)



ソフトボール部

①九里●1―9南陽○
②九里●1―8長井○
③九里〇10―2米沢東●
④九里●2―12米沢工業○
結果：1勝3敗 4位
〈出場メンバー〉

神田ちづる (2年 南 原)
尾形 未来 (2年 米沢二)
大谷 美穂 (2年 高島二)

バドミントン部

男子団体

一回戦 九里●0―3長井工業○
敗者復活戦

九里●0―3米沢工業○
〈出場メンバー〉

佐藤 彩名 (2年 米沢四)
宮澤 知世 (2年 南 原)
加藤 千佳 (2年 南 原)
大野 真依 (1年 高島二)
佐野麻祐子 (1年 米沢二)
金子 亜未 (1年 高島二)
青木優希子 (1年 米沢二)
高橋 由佳 (1年 米沢二)
高橋 楓 (1年 高島二)
高橋 七緒 (1年 川西二)
洞内 幸 (1年 米沢二)
佐藤菜津美 (1年 米沢七)

男子ダブルス

一回戦 0―2

佐藤 匠 (2年 宮 内)
近野 雅和 (2年 米沢三)
志摩 英人 (1年 米沢二)
佐伯 涼 (1年 米沢二)
角屋 崇 (1年 米沢二)
加藤 尚寛 (2年 米沢三)

一回戦 0―2

対 新野・後藤 (長井)

志摩 英人 (1年 米沢二) 組
佐伯 涼 (1年 米沢二)

男子シングルス
二回戦敗退
佐伯 涼 (1年 米沢二)

一回戦 2―0
対 坂野 (米沢商業)
二回戦 0―2
対 梅津 (長井工業)
一回戦敗退
角屋 崇 (1年 米沢二)

一回戦 0―2
対 松田 (南陽)

一回戦 0―2
近野 雅和 (2年 米沢三)
対 朝倉 (米沢東)

一回戦 0―2
佐藤 匠 (2年 宮 内)
対 吉田 (米沢東)

一回戦 1―2
志摩 英人 (1年 米沢二)
対 後藤 (長井)



女子団体

一回戦 九里〇3-0 米沢商業 ●

二回戦 九里 ●1-3 長井〇

敗者復活戦 一回戦シード

二回戦 九里〇3-0 南陽 ●

三回戦 九里〇3-1 長井工業 ●

結果3位県大会出場

女子ダブルス

5位

平田あゆみ(2年) 米沢(二)

黒田紗恵子(2年) 米沢(四) 組

県大会出場

一回戦 2-0

対 金田・梅津(荒砥)

二回戦 2-1

対 今野・廣谷(長井)

三回戦 0-2

対 鈴木・安部(長井)

敗者復活戦 2-0

対 田中・佐藤(米沢工業)

準優勝

黒坂 里恵(2年) 米沢(二)

伊藤 舞弥(1年) 米沢(二) 組

一回戦 2-0

対 吉川・沼澤(長井)

二回戦 2-1

対 石川・中山(興譲館)

三回戦 2-0

対 斎藤・鈴木(南陽)

準決勝 2-1

対 今野・鈴木(長井工業)

決勝 1-2

対 安部・鈴木(長井)

一回戦敗退

後藤 清奈(2年) 米沢(四)

佐藤 緩奈(1年) 米沢(五) 組

一回戦 0-2

対 田中・佐藤(米沢工業)

沓澤 佳奈(1年) 長井(南)

八巻 有利(1年) 高島(三) 組

一回戦 0-2

対 水見・島貫(米沢東)

女子シングルス

3位

黒坂 里恵(2年) 米沢(二)

県大会出場

一回戦 シード

二回戦 2-0

対 佐藤(米沢工業)

三回戦 2-0

対 宇津木(長井)

四回戦 2-0

対 我妻(興譲館)

準優勝 0-2

対 今野(長井工業)

四回戦敗退

伊藤 舞弥(1年) 米沢(二)

一回戦 シード

二回戦 2-0

対 梅津(長井工業)

三回戦 2-0

対 佐藤(米沢東)

四回戦 けがのため棄権

対 武(興譲館)

三回戦敗退

平田あゆみ(2年) 米沢(二)

一回戦 シード

二回戦 2-0

対 高木(米沢商業)

三回戦 0-2

対 鈴木(長井)

二回戦敗退

後藤 清奈(2年) 米沢(四)

一回戦 2-1

対 鈴木(興譲館)

二回戦 0-2

対 今野(長井工業)

一回戦敗退

黒田 紗恵子

一回戦 0-2

対 鈴木(長井工業)

弓道部

女子団体 5位

県大会出場権獲得

吉田 夏実(2年) 米沢(五)

鈴木咲由里(2年) 高島(三)

加藤 愛(2年) 米沢(四)

猪野早也香(2年) 高島(三)

花山絵梨香(2年) 上山(南)

男子団体 7位

県大会出場権獲得ならず

男子個人

3位 伊藤 涼(1年) 米沢(一)

県大会出場権獲得

女子テニス部

テニス女子ダブルス 2位

小池李里香(2年) 南(原)

宮阪 美咲(1年) 米沢(七) 組

3位

高山 友花(2年) 南原(中)

奥山 桃子(1年) 米沢(七) 組

女子バレーボール部

予選リーグ

Aブロック 3位(0勝2敗)

米沢中央/置賜農業/九里

第1試合

九里学園 0-2

米沢中央 4-25

第3試合

九里学園 0-2

置賜農業 11-25

決勝トーナメント

順位トーナメント 第9位

第1試合

九里学園 0-2

小国 23-25

24-26

卓球部

男子団体戦
 二回戦 九里 3-0 興譲館
 三回戦 九里 3-0 南陽
 決勝 九里 3-0 長井

男子個人戦
 優勝 梁 宏博(2年 中国)
 2位 左右田和馬(1年 長井北)
 3位 遠藤 優太(2年 米沢四)
 4位 遠藤 駿介(1年 飯豊)
 5位 伊藤 耕平(1年 飯豊)

女子団体戦
 二回戦 九里 3-0 長井工
 三回戦 九里 3-0 南陽
 決勝 九里 3-1 長井

女子個人戦
 優勝 姜 晓旭
 2位 安部 史絵(2年 川西一)
 3位 片桐 碧美(1年 高島二)
 4位 小泉 七海(1年 飯豊)
 5位 内海 利保(1年 喜多方二)

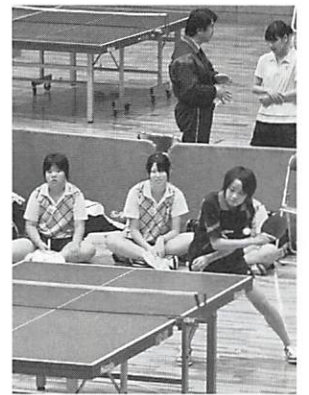
ベスト16
 金子 駿人(2年 川西一)
 以上県大会出場

三回戦敗退
 柏倉 芳樹(1年 米沢七)

二回戦敗退
 齋藤 千聖(2年 川西二)
 鈴木真菜美(2年 川西二)

男子個人戦
 優勝 金子 駿人(2年 川西一)
 2位 遠藤 優太(2年 米沢四)
 3位 梁 宏博(2年 中国)
 4位 左右田和馬(1年 長井北)
 5位 伊藤 耕平(1年 飯豊)

女子個人戦
 優勝 姜 晓旭
 2位 安部 史絵(2年 川西一)
 3位 片桐 碧美(1年 高島二)
 4位 小泉 七海(1年 飯豊)
 5位 内海 利保(1年 喜多方二)



ベスト16
 宮本 萌詩(2年 飯豊)
 大滝 幹実(1年 長井南)
 布施友莉恵(1年 米沢二)
 敗者復活で代表
 長沼 香苗(1年 米沢四)

個人戦シングルス
 1R敗退 高橋 拓斗(1年 米沢二)
 2R敗退 永井 達也(2年 南原)
 3R敗退 高橋 琢哉(1年 米沢四)

個人戦ダブルス
 2R敗退 高橋 拓斗(1年 米沢二)
 3R敗退 高橋 琢哉(1年 米沢四)

ペア
 小方 慎吾(2年 川西一)

男子テニス部
 一回戦敗退 伊藤あかね(1年 米沢七)

男子バスケットボール部
 一回戦 九里 127-35 荒砥
 二回戦 九里 65-66 米沢工業

青木 博則(2年 沖郷)
 海老名 快(1年 米沢二)
 直海 隆一(1年 米沢二)
 遠藤 駿(1年 米沢七)
 高橋 将太(1年 米沢五)
 太田 雅人(1年 米沢五)
 桐生 元気(1年 米沢二)
 藤原拳史郎(1年 米沢一)



野球部

第62回秋季東北地区高等学校
 野球山形大会(置賜地区予選)

一回戦 ○九里 11-9 南陽●
 二回戦 ○九里 9-2 高島●

代表決定戦
 ○九里 3-2 米沢工業●

順位決定戦

○九里 10-5 米沢中央 ●
 置賜地区第一代表で県大会へ
 (出場メンバー)

- 佐々木典寛 (2年 川西一)
- 渡部 裕人 (1年 長井南)
- 三浦 佑介 (2年 七ヶ浜)
- 黒田 仁 (2年 高島四)
- 佐藤 祥平 (2年 米沢二)
- 金子 瞭 (1年 高島三)
- 高橋 呈侖 (2年 高島三)
- 小池 啓友 (2年 長井南)
- 渡部 翼 (2年 沖郷)
- 齋藤 充樹 (2年 弥栄)
- 嘉藤 達彦 (1年 飯豊)
- 舟山 健太 (1年 小国)
- 竹田 尚平 (1年 高島四)
- 遠藤 尚 (2年 南原)
- 齋藤 雄樹 (1年 高島三)
- 渡部健太郎 (2年 米沢五)
- 白石 瑞希 (1年 宮内)

文化系部活動

新聞部

置賜地区新聞専門部新聞編集講習会

(平成21年12月19日)

参加生徒

小貫 愛美 (1年 米沢二)

- 渡部 愛 (1年 南原)
- 鈴木沙有理 (2年 米沢三)
- 舟山 李奈 (2年 飯豊)
- 高山 友花 (2年 南原)



ダンス部

8月14日

山上コミュニティセンター夏祭りに
 て演技披露

山上地区コミュニティセンター

9月21日

関根地区敬老会ステージにて演技披
 露 関根小学校

9月24日

ロータリークラブ例会にて演技披露
 サンプルト米沢

9月26・27日

兼続どん井まつりステージイベント
 にて演技披露 伝国の杜

10月11日

米沢生涯学習フェアステージにて演
 技披露 米沢市営体育館

10月18日

おもしろいなハーフマラソン開会式

にて演技披露 米沢市営陸上競技場
 11月14日

米沢市保育会研修会
 東京第一ホテル米沢

2月14日

米沢雪灯籠まつりステージ
 伝国の杜特設ステージ

生活科学部

2009おいしいおきたまチャレン
ジック「紅大豆料理コンクール」

結果：主食・惣菜の部 アイデア賞

演劇部

置賜地区高校演劇合同発表会

(9月18日~20日)

「たんぼぼとかずのこ」 優良賞

(スタッフ)

演出 清田 真央 (2年 米沢一)

助演出 須藤 加奈 (2年 米沢一)

舞台監督 島貫 裕子 (2年 川西二)

助舞台監督

五十嵐洋平 (1年 高島二)

装置 五十嵐洋平 (1年 高島二)

照明 須藤 加奈 (2年 米沢一)

音響 洪谷 宇範 (1年 米沢五)

衣装 後藤 亜希 (3年 米沢四)

遠藤 志保 (2年 高島一)

貫 裕子 (2年 川西二)

松崎 夏実 (1年 米沢二)

小道具 清田 真央 (2年 米沢一)
 メイク 島貫 裕子 (2年 川西二)
 松崎 夏実 (1年 米沢二)
 (キャスト)
 女 (金井智子)

清田 真央 (2年 米沢一)

引越し屋①

遠藤 志保 (2年 高島二)

引越し屋②

須藤 加奈 (2年 米沢一)

友達 (奥山裕子)

島貫 裕子 (2年 川西二)

妹 松崎 夏実 (1年 米沢二)

にゃんころ

五十嵐洋平 (1年 高島二)

美術部

第57回山形県高校美術展

第33回山形県高等学校総合文化祭

(10月9日~11日)

「奨励賞」

油彩画 F 100号「雨ニ挑ム」

青木みのり (3年 長井北)



その他の大会

ソフトボール部

山形県私立高等学校

女子ソフトボール大会

(10月18日)

〈出場メンバー〉

九里 4-9 鶴岡東
九里 15-0 山形城北

神田ちづる(2年 南原)

尾形 未来(2年 米沢二)

大谷 美穂(2年 高島二)

佐藤 彩名(2年 米沢四)

宮澤 知世(2年 南原)

加藤 千佳(2年 南原)

大野 真依(1年 高島二)

佐野麻祐子(1年 米沢二)

金子 亜未(1年 高島二)



女子バスケットボール部

平成21年度NHK杯山形県高等学校
バスケットボール新人選抜優勝大会

山形市総合スポーツセンター
(1月9日~10日)

ベスト8

一回戦 62-77 酒田商業

平成21年度置賜地区高等学校
バスケットボール冬季リーグ戦

(2月6日~7日)

ベスト8

一回戦 87-65 米沢東

二回戦 76-73 長井

三回戦 87-77 米沢商業

〈出場メンバー〉

佐藤 成美(2年 米沢五)

嵐田 真奈(2年 米沢五)

斎藤明日美(2年 高島四)

高橋加奈恵(2年 沖郷)

吉田 江里(2年 米沢五)

長岡奈緒美(2年 米沢五)

米野瑛莉香(2年 米沢四)

遠藤 瑞穂(2年 米沢四)

加藤 美咲(2年 宮内)

石井美沙樹(1年 米沢五)

サッカー部

高校サッカー選手権大会山形県大会

一回戦 突破

二回戦 九里 3-1 山形工業

〈出場メンバー〉

安部 恭平(3年 南原)

佐藤 翔也(3年 宮内)

木口 浩輔(3年 南原)

刃田野洋介(3年 高島二)

伊藤 彰洋(3年 米沢五)

遠藤 拓也(2年 米沢二)

吉田 昂平(2年 米沢二)

長部 翔矢(2年 南原)

杉本 豪(2年 南原)

金子 昂史(2年 高島二)

遠藤 拓真(1年 米沢二)

平 龍希(1年 米沢三)

古瀬 啓生(1年 米沢三)

高橋 翔(1年 宮内)

テニス部

山形県私立高等学校テニス大会

(11月7~8日)

男子・団体戦

九里 0-3 米沢中央

九里 0-3 日大山形

〈出場メンバー〉

九里 0-3 山本学園
九里 1-2 山形学院

鈴木 瞭平(2年 米沢五)

永井 達也(2年 南原)

小方 慎吾(2年 川西二)

高橋 拓斗(1年 米沢二)

高橋 琢哉(1年 米沢四)

角屋 崇(1年 米沢二)

女子・団体戦

九里 0-3 山本学園

九里 0-3 日大山形

*女子、3月末に行われる東北私学テニス大会への出場権獲得。

〈出場メンバー〉

宮阪 美咲(1年 米沢七)

高山 友花(2年 南原)

奥山 桃子(1年 米沢七)

深沢 和礼(1年 川西二)

大槻 恭子(1年 米沢二)

男子バドミントン部

平成二十一年度第十九回置賜地区高等学校対抗バドミントン団体選手権

(12月13日)

男子団体

決勝トーナメント出場ならず

予選C組 2-1 対 南陽高校

0-3 対 長井工業

〈出場メンバー〉

佐藤 匠(2年 宮内)

平成21年度第39回置賜バドミントン選手権大会

(1月9~10日)

男子二部ダブルス

一回戦敗退

佐藤 匠(2年 宮内中) 加藤 尚寛(2年 米沢三) 組

0-2

対 古山(成島園)・斎藤(JA) 近野 雅和(2年 米沢三) 中山 大輔(職員) 組

対 寒河江・五十嵐

(スポーツクラブOMONO)

男子二部シングルス

一回戦敗退

近野 雅和(2年 米沢三) 2-0 対 チュン(南部)

二回戦敗退

佐藤 匠(2年 宮内)

一回戦 シード

二回戦 0-2

対 遠藤(米沢ジュニア)

三回戦敗退

加藤 尚寛(2年 米沢三)

一回戦 シード

二回戦 2-1

対 赤木(米沢南部JCB)

三回戦 0-2

対 梅津(長井工業)

(出場メンバー)

佐藤 匠(2年 宮内)

近野 雅和(2年 米沢三)

加藤 尚寛(2年 米沢三)

平成二十一年度第二回山形県高校生あすなるバドミントン大会

2月14日

男子ダブルス

予選リーグ 4位

佐藤 匠(2年 宮内)

加藤 尚寛(2年 米沢三) 組

5勝3敗

男子シングルス

予選リーグ 8位

近野 雅和(2年 米沢三)

(出場メンバー)

佐藤 匠(2年 宮内)

近野 雅和(2年 米沢三)

加藤 尚寛(2年 米沢三)

7敗

女子バドミントン部

平成21年度第39回置賜バドミントン選手権大会

(1月9~10日)

女子一部ダブルス

一回戦敗退

黒坂 里恵(2年 米沢二) 伊藤 舞弥(1年 米沢二) 組

一回戦 2-0

対 三上(米沢南部JBC)

安部(長井JSC)

後藤香朱美(3年 米沢五) 組

雨田 佳穂(3年 米沢四)

一回戦 2-0

対 井上(ナノトップ)

吉田(フジミ)

女子二部ダブルス

二回戦敗退

平田あゆみ(2年 米沢二) 黒田紗恵子(2年 米沢四) 組

一回戦 シード

二回戦 1-2

対 鈴木・色摩

(HISジュニア)

後藤 清奈(2年 米沢四) 高木ユキエ(職員) 組

一回戦 2-0

対 鈴木・石川(興譲館)

二回戦 2-0

対 縮・小関

(アイリスクラブ)

女子三部ダブルス

三回戦敗退

佐藤 緩奈(1年 米沢五) 八巻 有利(1年 高島三) 組

一回戦 シード

二回戦 2-0

対 竹田・松田(南陽)

三回戦 2-0

対 高橋・長谷川

(長井JSC)

女子一部シングルス

二回戦敗退

黒坂 里恵(2年 米沢二)

2-0

対 鈴木(長井ジュニア)

女子二部シングルス

三位 黒田紗恵子(2年 米沢四)

一回戦 2-0

対 島貫(米沢東)

二回戦 2-0

対 色摩(HISジュニア)

三回戦 2-1

対 田中(米沢工業)

四回戦 2-0

対 堀米(HISジュニア)

二回戦敗退

平田あゆみ(2年 米沢二)

一回戦 シード

二回戦 0-2

対 斎藤(HISジュニア)

一回戦敗退

後藤 清奈(2年 米沢四)

一回戦 0-2

対 鈴木(HISジュニア)

女子三部シングルス

四回戦敗退

佐藤 緩奈(1年 米沢五)

一回戦 2-0

対 戸田(HISジュニア)

二回戦 2-0

対 宇津木(長井工業)

平成二十一年ジャワワ杯山形県高等学校バドミントン大会 (11月23日)

団体

二回戦敗退

一回戦 2-1 対 楯岡
二回戦 0-3 対 山形学院
(出場メンバー)

- 伊藤 舞弥 (1年) 米沢二
- 佐藤 緩奈 (1年) 米沢五
- 沓澤 佳奈 (1年) 長井南
- 八巻 有利 (1年) 高島三

平成二十一年度第十九回置賜地区高等学校対抗バドミントン団体選手権 (12月13日)

女子団体

予選A組 ふあいぶチーム

決勝トーナメント出場

3-0 対 南陽高校

3-0 対 長井高

予選C組 ゆりっかーず

決勝トーナメント出場

3-0 対 米沢東

3-0 対 米沢商業

決勝トーナメント

準優勝

ふあいぶチーム

3-0 対 長井高B

2-1 対 長井高C

ゆりっかーず

2-1 対 長井工業

(出場メンバー)

ふあいぶチーム

黒坂 里恵 (2年) 米沢二

平田あゆみ (2年) 米沢二

黒田紗恵子 (2年) 米沢四

後藤 清奈 (2年) 米沢四

相田ちひろ (2年) 米沢六

ゆりっかーず

伊藤 舞弥 (1年) 米沢二

佐藤 緩奈 (1年) 米沢五

沓澤 佳奈 (1年) 長井南

八巻 有利 (1年) 高島三

雨田 佳穂 (3年) 米沢四

後藤香朱美 (3年) 米沢五

平成二十一年度第二回山形県高校生あすなるバドミントン大会 (2月14日)

女子ダブルス

決勝トーナメント出場

(後藤 清奈 (2年) 米沢四)

佐藤 緩奈 (1年) 米沢五) 組

予選リーグ 3位

5勝3敗

予選リーグ12位

(相田ちひろ (2年) 米沢六)

八巻 有利 (1年) 高島三) 組

8敗

女子シングルス

準優勝

黒田紗恵子 (2年) 米沢四)

予選リーグ 2位

スキー部

平成二十一年度第六十五回国民体育大会冬季大会スキー競技会山形県予選 第81回山形県スキー選手権大会兼第88回全日本スキー選手権大会山形県予選会 (1月17日~23日)

【国体予選・選手権予選】

クラシカル5km

国体予選3位、選手権予選5位

島貫 蓮 (3年) 米沢三)

国体・全日本スキー選手権出場決定

国体予選10位、選手権予選14位

佐藤 香澄 (3年) 米沢五)

国体予選11位、選手権予選15位

近田 沙稀 (2年) 米沢五)

国体予選12位、選手権予選16位

島貫なつみ (1年) 米沢三)

【県選手権】

フリー10km

国体予選7位、選手権予選8位

島貫 蓮 (3年) 米沢三)

国体予選8位、選手権予選9位

近田 沙稀 (2年) 米沢五)

国体予選11位、選手権予選13位

佐藤 香澄 (3年) 米沢五)

国体予選12位、選手権予選14位

島貫なつみ (1年) 米沢三)

リレー5km×3人

(一走クラシカル、二・三走フリー)

島貫 蓮 (3年) 米沢三)

3位 近田 沙稀 (2年) 米沢五)

佐藤 香澄 (3年) 米沢五)

卓球部

二十一年度山形県卓球選手権大会兼全日本選手権大会県予選 (10月3日)

男子

個人戦

ベスト8

左右田和馬 (1年) 長井北)

ベスト32

伊藤 耕平 (1年) 飯豊)

加藤 琢也 (1年) 米沢四)

四回戦敗退

遠藤 優太 (2年) 米沢四)

遠藤 駿介 (1年) 飯豊)

柏倉 芳樹 (1年) 米沢七)

三回戦敗退

金子 駿人 (2年) 川西二)

女子
個人戦

ベスト8
安部 史絵 (2年 川西一)
ベスト16

大滝 幹実 (1年 長井南)
三回戦敗退

宮本 萌詩 (2年 飯 豊)
内海 利保 (1年 喜多方二)

二回戦敗退

布施友莉恵 (1年 米沢二)

一回戦敗退

長沼 香苗 (1年 米沢四)

片桐 碧美 (1年 高島二)

小泉 七海 (1年 飯 豊)

田中 紗知 (1年 南 原)

東京選手権大会山形県予選会
(12月13日)

女子シングルス

優勝

姜 暁 旭 (1年 中 国)

東京選手権大会 (全国大会) 出場

ベスト16

奥村 佳奈 (3年 川西一)

二回戦敗退

安部 史絵 (2年 川西一)

大滝 幹実 (1年 長井南)

一回戦敗退

片桐 碧美 (1年 高島二)

女子ダブルス

5位

(大滝 幹実 (1年 長井南)
姜 暁 旭 (1年 中 国) 組

男子シングルス

2位 梁 宏 博 (2年 中 国)

東京選手権大会 (全国大会) 出場

二回戦敗退

遠藤 優太 (2年 米沢四)

男子ダブルス

優勝

(梁 宏 博 (2年 中 国)
井上 拓郎 (卒業生現八戸工大) 組

東京選手権大会 (全国大会) 出場

男子バスケットボール部

二十年度置賜地区高等学校バスケットボール冬季リーグ戦
(2月6日・7日)

2部3位 1勝2敗

78-85 興譲館

74-66 長井

65-89 長井工業

(出場メンバー)

青木 博則 (2年 沖 郷)

海老名 快 (1年 米沢二)

直海 隆一 (1年 米沢一)

遠藤 駿 (1年 米沢七)

高橋 将太 (1年 米沢五)

太田 雅人 (1年 米沢五)

藤原拳史郎 (1年 米沢二)

一年生大会 (高島高校と合同チーム)

九里学園高島高校

(出場メンバー)

渡部 裕人 (1年 長井南)

嘉藤 達彦 (1年 飯 豊)

金子 瞭 (1年 高島三)

白石 瑞希 (1年 宮 内)

竹田 尚平 (1年 高島四)

舟山 健太 (1年 小 国)

齋藤 雄樹 (1年 高島三)

編集後記

二月十八日グラウンドホクヨウにて部活動後援会後期役員会が盛大に行われました。

日頃からお世話になっている役員の皆様と、各部活動の保護者代表者やコーチの皆様、そして本校部活動顧問が出席し、今年一年の締めくくりが行われました。

オープニングでは、恒例となってきましたダンス部のパフォーマンスがあり、生徒たちは普段からイベント等で発表している実力を発揮してくれました。

そして後援会長、学校長から一年間のねぎらいの言葉をいただき、更に顧問から今年度の活動報告や来年度の目標・決意を各部活動から熱く語ってもらいました。

今年度の慰労と、来年度へ向けて弾みのである会となりました。本校部活動を更に盛り上げていきたいと思っておりますので、全員で向上を目指していきたいと思っております。表紙にもありましたが「Challenge Kunori」を合言葉に頑張っていきたいと思います。

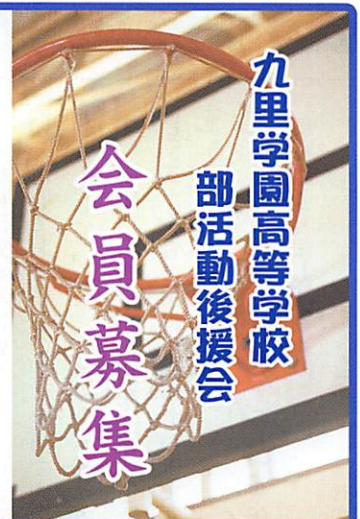
一年間ご苦勞様でした。そして来年度も頑張りますよ！

(担当 原田)



平成21年度 部活動後援会法人会員一覧 (敬称略順不同)

- (有)平田自動車工業
- 中條歯科医院
- 笹生歯科医院
- (株)齋藤住設工業
- 米沢アルミ工業(株)
- 特急寿司
- (株)カクダイ本店
- (有)花のえちごや
- (有)肉の加藤
- 松岬自動車学校
- 米沢ドライビングスクール
- 玉寿司
- (株)本多建設
- (株)本多興産
- ホテルベネックス
- (株)ニュー小原商店
- 山交観光(株)米沢営業所
- (株)北宣
- (有)井上板金工業所
- (株)城南産業
- (株)米沢住建センター
- (株)千代田電工
- (有)佐々木硝子店
- (株)マルコーエンジニアリング
- 金沢清掃(有)
- (有)今井商店
- ステーキハウスオルガン
- (有)タキペン塗装
- 神原省治
- (株)JTB東北米沢支店
- (有)べにはな
- (株)伊藤園
- (株)仙台コココーラ
- (有)ウエマツ
- (株)小泉創芸
- 齋藤俊一税理士事務所
- (株)タスクフーズ
- ひかりフーズ
- 土木施工山口
- インテリア雅
- 酒井塗装所
- (株)川島印刷
- 福島カラー印刷(株)
- (株)エービーエム
- (株)平山孫兵衛商店
- (株)アクセル
- (有)キョウドウ印刷
- (株)吾妻スポーツ
- アカマ建設(株)
- 安部シーリング
- (株)佐竹鉄工
- 麻屋
- 山大前やまとや
- まつかわや
- 平賀秋夫
- 長谷川美恵子
- 後藤恵子
- (株)スズデン
- 上杉城史苑
- 岡田電気産業(株)
- 山形ニッタン(株)
- 東亜熱研工業(株)
- 山形電気保安管理(株)
- 和光堂写真館
- 山形日産自動車(株)
- 八百勘本店
- 県南自動車学校
- 車検のコバック米沢店
- (有)有坂保険
- 丹波館
- うどん匠元
- 石附硝子(株)
- (有)マルゼンスポーツ
- (平成二十二年三月一日現在)



本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通りです。

- 特別会員 年会費 一〇三、〇〇〇円 (□数は問わず)
- 法人会費 年会費 一〇一〇、〇〇〇円 (□数は問わず)

新規会員を募集しております。

お問い合わせは 後援会事務局(担当/大滝勲)まで
一報下さい。

011-238-2100
011-238-2101
011-238-2102
011-238-2103
011-238-2104
011-238-2105
011-238-2106
011-238-2107
011-238-2108
011-238-2109
011-238-2110

